

2018年3月期 第2四半期 決算説明会

2017年11月6日

日本ユニシス株式会社

1

決算概要

2

中期経営計画「Innovative Challenge Plan」
の進捗

ソフトウェアおよびアウトソーシングが伸長
システムサービスも堅調に推移し営業利益は34%増益

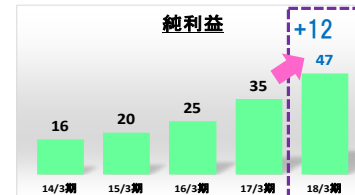
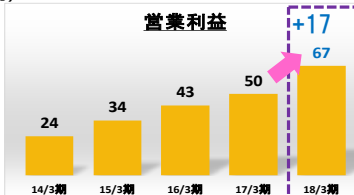
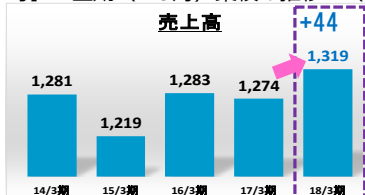
(単位：億円)

| | 上期 (4-9月) | | 前年同期比 増減 | |
|----------------------|-----------|---------|-------------|---------|
| | 2018/3期 | 2017/3期 | | |
| 売上高 | 1,319 | 1,274 | +44 | +3.5% |
| 売上総利益 | 321 | 308 | +13 | +4.4% |
| 販管費 | ▲254 | ▲258 | +4 | +1.4% |
| 営業利益 | 67 | 50 | +17 | +34.4% |
| (営業利益率) | (5.1%) | (3.9%) | | (1.2pt) |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 47 | 35 | +12 | +34.6% |
| 受注高 | 1,462 | 1,327 | +134 | +10.1% |
| 受注残高 | 2,250 | 2,169 | +82 | +3.8% |

<上期決算のポイント>

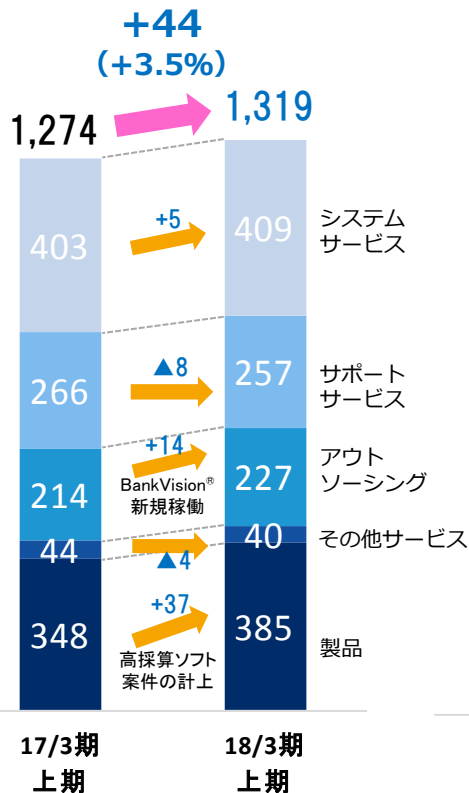
- 売上高
ソフトウェアおよびアウトソーシングが伸長し増収。
システムサービスも堅調に推移。
- 営業利益
増収効果および
販管費の減少により増益。
- 親会社株主に帰属する四半期純利益
営業増益に伴い増益。
- 受注高・受注残高
アウトソーシング、システムサービスを
中心に受注高、受注残高とも増加。

【ご参考】 上期 (4-9月) 業績の推移 (単位：億円)

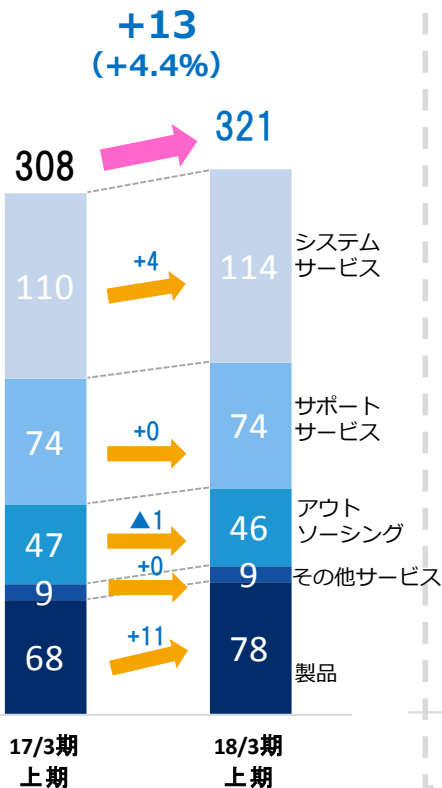


(単位：億円)

売上高

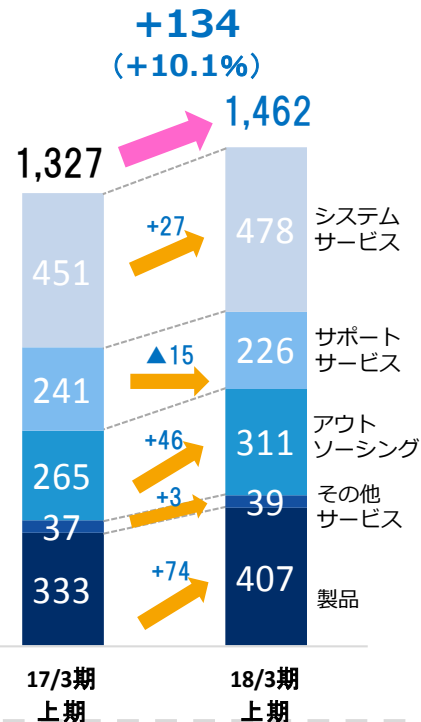


売上総利益



【ご参考】

受注高



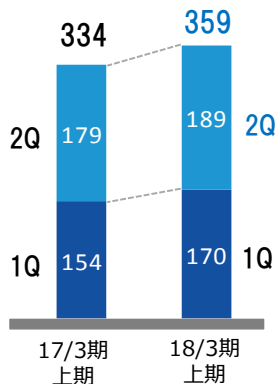
2018年3月期 上期 マーケット別売上高

Foresight in sight

(単位：億円)

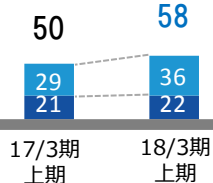
金融機関

+25
(+7.5%)



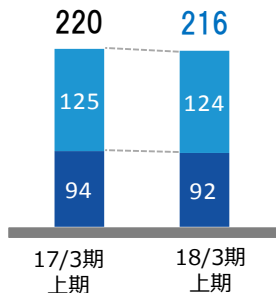
官公庁

+8
(+16.0%)



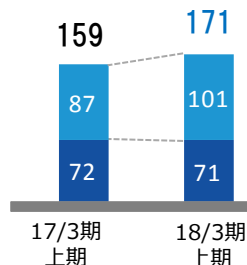
製造

▲4
(▲1.9%)



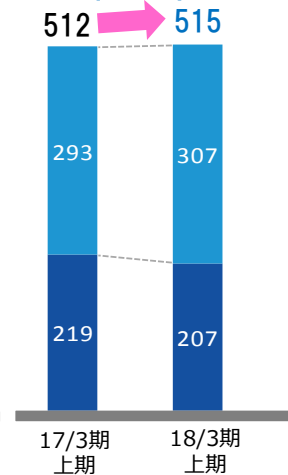
商業・流通

+13
(+7.9%)



電力・サービス他

+3
(+0.5%)



マーケット概況

(金融機関)

営業店変革を支援する顧客接点系フロントソリューション案件が活発。FinTechを活用した新たなサービスを拡大展開中。

(官公庁)

地方自治体などに向けた地域創生ビジネスの創出に注力。

(製造)

自動車中心に需要は底堅い。IoTプラットフォームを展開中。AI関連ビジネスの拡大にも取り組む。

(商業・流通)

小売・EC事業向け導入型ソリューション拡販に取り組む。ビッグデータを活用した顧客分析支援へのアプローチを開始。

(電力・サービス他)

引き続きエネルギー管理システムを軸とした社会基盤領域ビジネスを強化。訪日外国人向け観光プラットフォームを拡大中。

通期の売上高、営業利益、純利益の予想は
公表値（8月1日）から変更なし

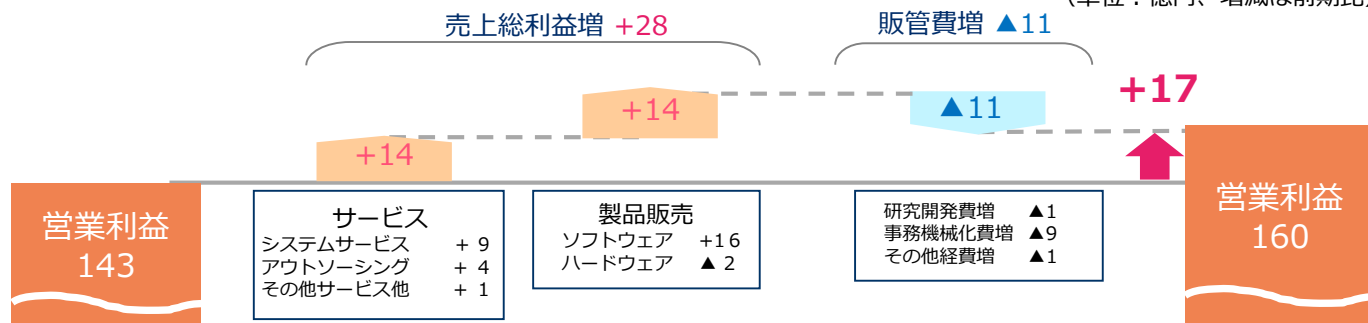
（単位：億円）

| | 18/3月期 上期実績 | | 18/3月期 下期予想 | | 18/3月期 通期予想 | |
|----------------------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|-----|
| | 金額 | 前年同期比 | 金額 | 前年同期比 | 金額 | 前期比 |
| 売上高 | 1,319 | +44 | 1,581 | +33 | 2,900 | +78 |
| 営業利益 | 67 | +17 | 93 | ▲0 | 160 | +17 |
| （営業利益率） | （5.1%） | | （5.9%） | | （5.5%） | |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 47 | +12 | 63 | ▲5 | 110 | +7 |

* 通期予想の内訳は補足資料をご覧ください。

【2018年3月期 通期予想 営業利益の増減分解】

（単位：億円、増減は前期比）



17/3期通期

18/3期通期

1 決算概要

2 中期経営計画「Innovative Challenge Plan」の進捗

✓ 中期経営計画に基づく各領域での取り組み状況

社会や業界の
動向・課題から
サービスモデルを
設計する

デジタルイノベーション

- ✓ 金融機関向け顧客接点系
フロントソリューション強化
- ✓ 「チャネルペイメントサー
ビス株式会社」による決済サー
ビス網の拡大

ライフイノベーション

- ✓ 観光活性化や地域密着型サー
ビスにより地方創生を推進
- ✓ シェアリングエコノミー領域で
のエコシステムの拡大

サービスモデルを
実現する最適な
ICT環境を
組み合わせて提供

ビジネスICTプラットフォーム

- ✓ ビジネスモデルの変革を進め、サービス型ビジネスへシフト

企業風土・人財改革

イノベーションを
起こす風土の醸成
・新たな取り組み

- ✓ 働き方改革の推進
- ・フリーアドレスを拡充
- ・テレワークを拡大

投資戦略

- ✓ 新会社設立
- ・「チャネルベンチャーズ株式会社」
- ・「チャネルグローブ株式会社」

デジタル イノベーション

✓ 金融機関向け「顧客接点系フロントソリューション」を強化し、ビジネス拡大を図る

従来の金融業の枠組みを超える新たな価値創造に向けて
日本ユニシスは金融機関さまのパートナーであり続けることを目指します。

北國銀行 営業店変革プロジェクト

『フロントUI/UX分野のシステム強化』



山梨中央銀行・スルガ銀行 営業店窓口業務支援



朝日信用金庫 営業店イノベーション・プラットフォーム

『BANK_FIT-Zero®による
営業店収益エンジン強化』

ファンド・オブ・ファンズ
～オープンイノベーション～

Resonatex™ (レゾナテックス) オープンAPI公開基盤サービス

『金融機関のビジネスモデル変革を支援』

新しいビジネスの創出

Fortune Pocket®
～資産形成支援専用アプリ～

付加価値・新規領域

BankVision® Web-API
『企業間コラボレーションの実証実験』

根幹業務領域

CLOUDIL (※1) 活動
～事業コンサルティング～

破壊的・創造的
ビジネスの進化

外部アセット

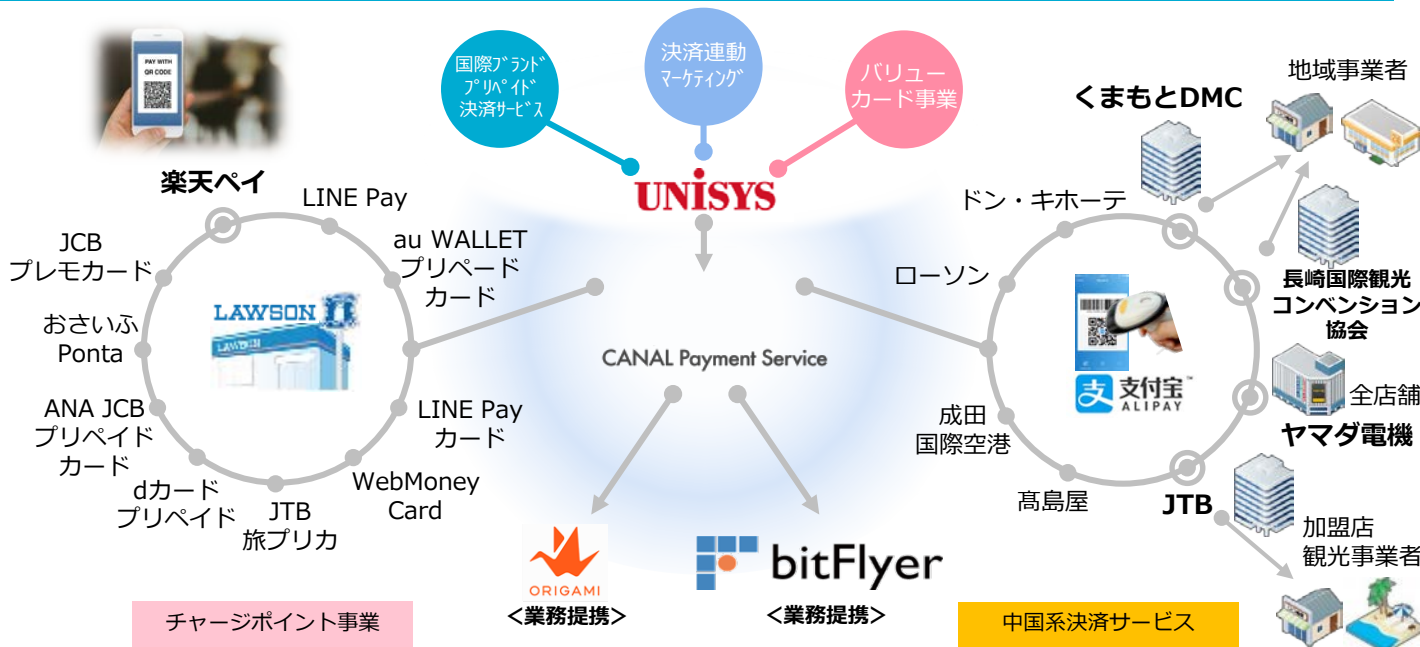
利活用するアセット

※1 CLOUDIL:一般社団法人クラウド活用・地域ICT投資促進協議会

デジタル イノベーション

✓ 子会社「キャナルペイメントサービス」のプラットフォーム
連携による決済サービス網の拡大

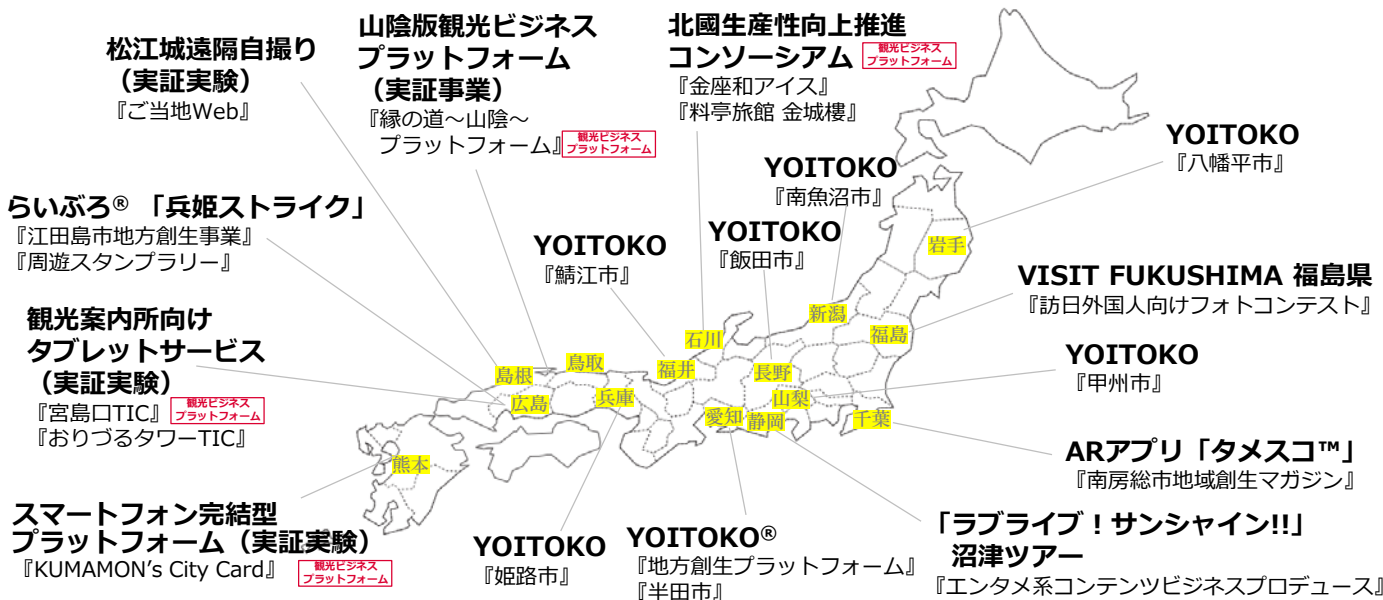
新たなキャッシュレス社会の実現に向け、実績あるサービスで社会課題の解決を目指します。



ライフ イノベーション

✓プラットフォームを活用した観光活性化や
地域独自コンテンツとの連携により、地方創生を推進

観光に関わるサービスをシームレスに提供する『観光ビジネスプラットフォーム』や、地域の独自コンテンツや事業者などと連携し、地方創生に取り組みます。

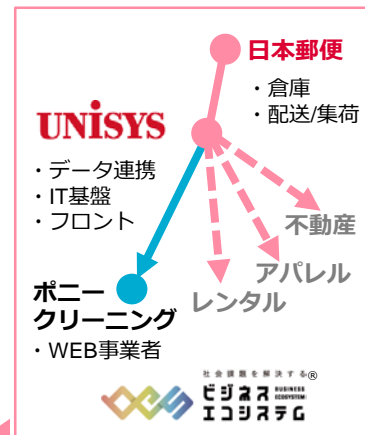


ライフ イノベーション

✓ シェアリングプラットフォームが拡大し、付加価値サービスを実現する、さまざまなビジネスエコシステムを形成

シェアリングエコノミー領域のプラットフォームを拡大し、異業種のサービス事業者が技術やアセットを活かしてコラボレートすることを推進していきます。

シェアリングプラットフォームの拡大



※1
日本郵便が保有する倉庫・宅配ネットワークを活用し、不動産業、アパレル業、レンタル業、シェアリング業などのサービス事業者に収納サービスを提供する日本ユニシスのクラウド型サービスです。

中期経営計画への取り組み

Foresight in sight

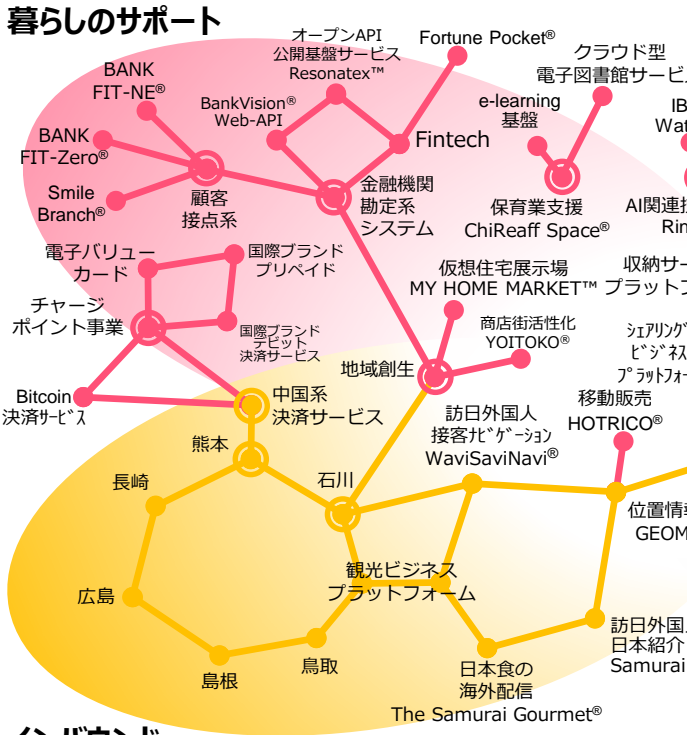
社会課題を解決する



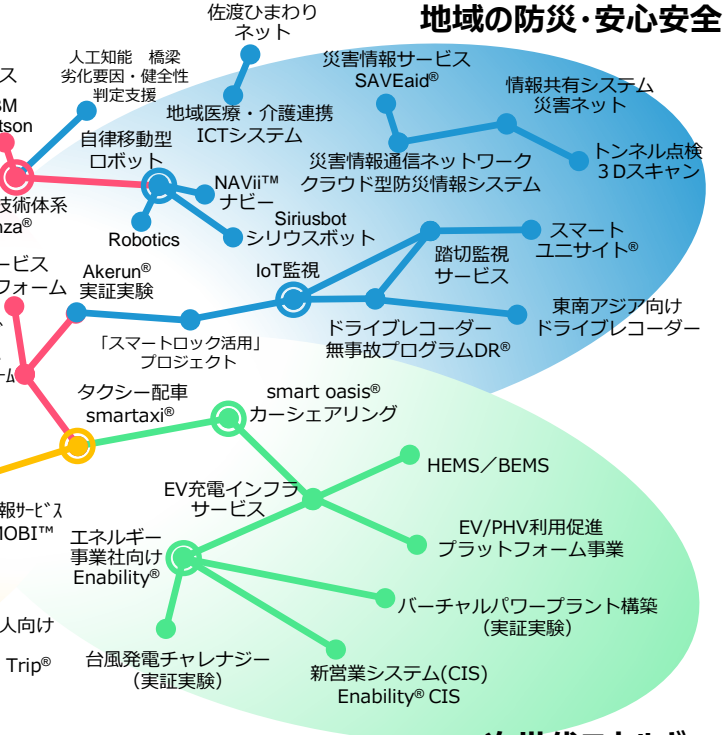
ビジネス BUSINESS ECOSYSTEM
エコシステム

点から面へ、実績あるサービスをもとに異業種をつなぎ、社会課題の解決を目指すビジネスエコシステムを創出します。

暮らしのサポート



地域の防災・安心安全



インバウンド

次世代エネルギー

投資戦略

✓ デジタルトランスフォーメーション領域への投資および、海外事業への本格進出を目的に、子会社2社を設立

ベンチャーキャピタル事業の新会社として、「キャナルベンチャーズ株式会社」を設立、総額50億円のファンドを組成。デジタルトランスフォーメーション領域へ投資し、イノベーションの持続的な創出を目指します。



本格的な海外事業進出に向け、「キャナルグローブ株式会社」を設立、国内外のお客様と連携し、海外事業を展開。インドネシア「ISeMaグループ（※1）」に資本参加、東南アジア市場でのプラットフォーム事業を推進します。

※1 PT. INDIVARA SEJAHTERA MANDIRIグループ（本社：インドネシア ジャカルタ）

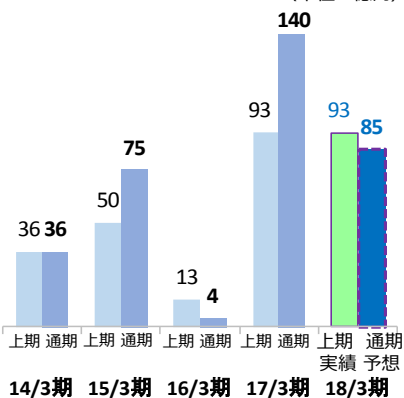
(参考) 財務指標推移および中期経営計画の進捗

▼ 今年度上期実績

▽ 前年度上期実績

フリー・キャッシュ・フロー

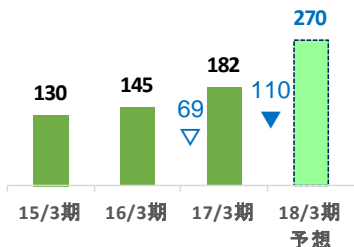
(単位: 億円)



売上高

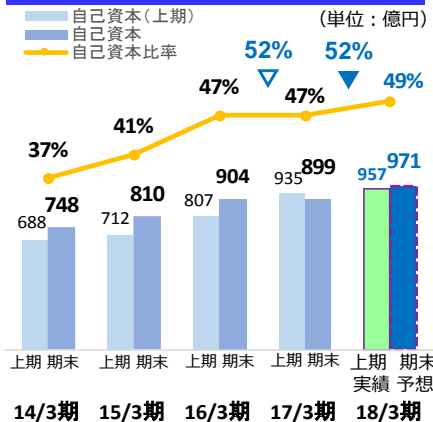
デジタルイノベーション

(単位: 億円)



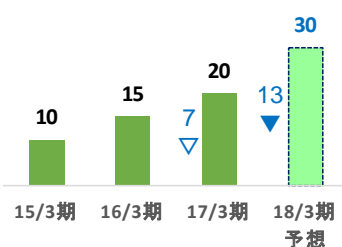
自己資本

(単位: 億円)

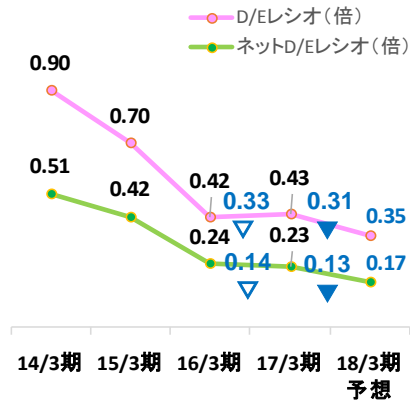


ライフイノベーション

(単位: 億円)

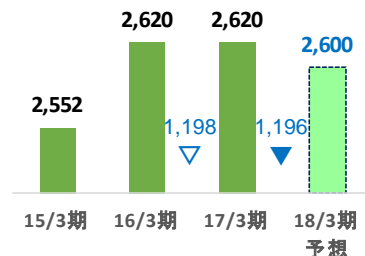


D/Eレシオ



ビジネスICTプラットフォーム

(単位: 億円)



Foresight in sight

UNISYS

(注意)

本資料における将来予想に関する記述は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。実際の結果は、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予想と異なる可能性があり、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。

本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。